



第10号 2018年7月発行 はつかいち市民図書館



6月に新しく入った本



読んだ or 予約したら☑



ひやくまんごく る すいやく そうどう
□「百万石の留守居役 11 騒動」

上田秀人/著 講談社 2018.6
BFウ(さいき)

藩主綱紀の使者として赴いた越前松平家で刀を振るうことになった数馬に、追っ手がかかる。一方、琴も女忍たちと数馬奪回に向かうが…。
★1巻(2013年11月刊)貸出回数41回

ひやと ろうにんせいかつろく かね ようげき
□「日雇い浪人生活録 5 金の邀撃」

上田秀人/著 角川春樹事務所 2018.5
B913.6ウ5(大野)

雇い主・両替商分銅屋の持ち長屋に住まう用心棒・諫山左馬介。つとめ明けで部屋に戻ると女御庭番・村垣伊勢から声がかかり…。
★1巻(2016年5月刊)貸出回数46回

のみ ざむらい
□「蚤とり侍」

小松重男/著 光文社 2017.10
B913.6コ(大野)

「猫の蚤とりになって無様に暮らせ！」主君の逆鱗に触れた長岡藩士・小林寛之進は、猫の蚤とり——実は“淫売夫”に身を落とす。

ふるぎやそうべえ あつもり
□「新・古着屋総兵衛 16 敦盛おくり」

佐伯泰英/著 新潮社 2018.6
BFサ(はつかいち・さいき) B913.6サ(大野)

交易船団はバタヴィアでオランダとの直接交易に入ろうとしていた。最新型巨大帆船の発注について信一郎は大きな選択を迫られる。
★1巻(2011年2月刊)貸出回数249回

くうやじゅうばんしょうぶせいしゅんへん いきょう
□「空也十番勝負青春篇5 異郷のぞみし」

佐伯泰英/著 双葉社 2018.6
BFサ(はつかいち・さいき) B913.6サ(大野)

五島列島の野崎島を後にした坂崎空也は、高麗との国境の島対馬に辿り着く。岬で彼の国を眺めていると対馬藩士に声をかけられて…。
★1巻(2017年1月刊)貸出回数122回

おにやく はくじん
□「鬼役 24 白刃」

坂岡真/著 光文社 2018.5
B913.6サ24(大野)

矢背蔵人介は將軍の毒味役である御前奉行「鬼役」を務める一方で、幕臣の不正を断つ暗殺役も務める。突然何者かから「密命」が下り…。
★1巻(2012年4月刊)貸出回数44回



裏面へつづく!



読んだ or 予約したら☑



いちまんごく むぎ しずく
□「おれは一万石 4 麦の滴
5 無節の櫓」

千野隆司/著 双葉社 ④2018.4 ⑤2018.5
B913.6チ (大野)

ぎりぎり一万石の大家に婿として入った十七歳の若者・正紀の奮闘を描く。

★1巻 (2017年9月刊) 貸出回数 16回

まごづ ざむらいうらかぎょう だっばん
□「孫連れ侍 裏稼業 3 脱藩」

鳥羽亮/著 幻冬舎 2018.6
BFト (はつかいち)

柳原通りで発生した辻斬りの下手人を始末する裏の仕事を引き受けた伊丹茂兵衛。しかし、国元である亀沢藩の目付がやってきて…。

★1巻 (2017年6月刊) 貸出回数 30回

おかたなばんひだりきょうのすけ さよさもじ
□「御刀番左京之介 10 小夜左文字」

藤井邦夫/著 光文社 2018.5
B913.6フ (大野)

汐崎藩御刀番頭の左京之介は、左家にまつわる名刀「小夜左文字」が盗まれたことを知らされる。

★1巻 (2015年5月刊) 貸出回数 38回

えど かるうしおやはやと たいけつ じげんりゅう
□「江戸家老塩屋隼人 2 対決、示現流

こいがたき くぼうさま
3 恋敵は公方様」
牧秀彦/著 徳間書店 ②2018.1 ③2018.4
BFマ (はつかいち)

内証苦しい尼崎藩の江戸家老・塩屋隼人は、藩邸を取り仕切る一方で、国許の農政に腐心していた。★1巻 (2017年10月刊) 貸出回数 18回

けんかくそうだんにん かげろうけんひろく
□「剣客相談人 22 陽炎剣秘録」

森詠/著 二見書房 2018.5
B913.6モ (大野)

遠野の村長の娘・美雪が、剣客相談人・大門甚兵衛の文を携えて、文四郎と爺の左衛門の長屋を訪ねてくる。

★1巻所蔵なし

□「山本周五郎名品館」1～3

山本周五郎/著 沢木耕太郎/編 文藝春秋
①2018.4 ②2018.5 ③2018.6
BFヤ (はつかいち)

山本周五郎の作品の中から、名品を選んだ短編傑作集。

こうちゅういけいすけじけんちょう こいぶみ き
□「口中桂助事件帖 14 恋文の樹

どっかでん
15 毒花伝」
和田はつ子/著 小学館 ⑭2016.2 ⑮2018.5
B913.6ワ (大野)

虫歯に悩む者たちを長崎仕込みの知識で次々と救う、江戸の名歯科医・藤屋桂助が事件に迫る。

★1巻 (2005年11月刊) 貸出回数 27回

りょうりにんとしぞうとりものひかえ ぼたん
□「料理人季蔵捕物控 35 牡丹ずし」

和田はつ子/著 角川春樹事務所 2018.4
B913.6ワ (大野)

北町奉行の鳥谷椋十郎が「牡丹ずし」を食べに店にやってきた。季蔵にたつての願いがあると…。

★1巻 (2007年6月刊) 貸出回数 74回

